



ワーク・ライフ・バランスで
キャリアと人生をもっと豊かに。

WORK LIFE BALANCE

一般事務員 行政
港湾空港局 空港企画課
伊藤 淳一
平成16年度入職

プライベートの経験値も一緒に上げて、
人生の満足度がレベルアップ！

育児の分担は夫にしかできないと考え、
半年間の育休を取得。

わが家は共働きで、家事育児は分担して取り組んでいます。妻がキャリアを中断し育休を取るのを、私も育休を取ることは当然だと考えました。職場の後押しやサポートも得られ、第一子のときは半年間、第二子のときは1か月間の育休を取得。私の所属は係長と職員が1人ずつの係なので、他の係とも連携した対応で育休中の体制を整えてもらいました。現在も子育て支援制度をフル活用し、朝は保育園に子どもを送ってから出勤しています。

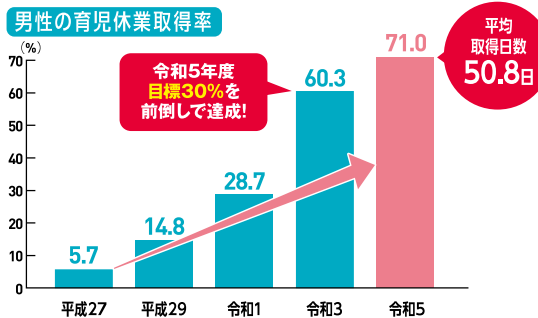


業務効率アップを常に意識することで、
子育てや趣味の時間も充実します。

育休を経て、プライベートを確保するため業務効率アップを強く意識するようになりました。段取りを改善したり時短スキルを身につけたり、時間内で成果を出すよう工夫しています。また自宅でできる趣味としてサックスを始めました。スノーボードにも年1回行っており、公私共に充実した日々を送っています。

北九州市役所は、
男性の育休取得も応援する職場。

北九州市役所は男性の育休取得に対し、とても理解があります。私が半年間の育休取得を相談したときも応援してもらえました。また子育てには急な休みがつきものですが、上司や同僚に快く、親身になってサポートしてもらえるので、非常に働きやすい職場だと実感しています。



配偶者の声 WIFE'S VOICE



1人目の出産では夫婦で半年ずつ、2人目の出産では私は1年間、夫は1か月の育休を取りました。2人目のとき、夫には産後の体調が不安だった私のサポートもしてもらい、とても助かりました。夫にはもちろんですが、家庭も仕事も趣味も、何もあきらめなくてよい環境を整えてくれる職場にも感謝しています。

所属長の声 BOSS'S VOICE



伊藤さんは、空港企画課勤務3年目ですが、第一子と第二子の誕生後に、2度の育児休業を取得しました。共働きで苦労もあるでしょうが、仕事をしっかりとこなしてくれています。職場として、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けしっかりとサポートしていきます。